

施策：	12	農林業の振興	財務コード	01050104-07-349
基本事業：	01	農業の持続的経営への支援と担い手づくり	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	地域計画策定集落数（計画期間内累計） 新規就農者数（計画期間内累計） 認定農業者数		担当課	農政課
			担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成08年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
J A 筑紫機械利用組合・農事組合法人連絡協議会 （法人西小田、隈、法人三水うまいち、西吉木、法人あしき、山家）			市内3組合・3法人、市外（那珂川市）1組合で組織するJ A 筑紫機械利用組合・農事組合法人連絡協議会の活動を支援するため補助金を交付する。 < 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			< 協議会の活動内容 > ・オペレーター育成（大型特殊運転免許取得） ・リーダー研修 ・農業機械安全運転講習会 ・先進地視察				
各機械利用組合等が健全に発展し、経営能力の向上とともに、機械利用組合等の相互の協体制が確立する。							

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
講習会受講者数	人	34	31	45	45			40
免許取得者数	人	61	60	62	52			56

5. コスト								
事業費	計	千円	0	0	135	135		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	0	0	135	135			
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	782	802	838				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	782	802	973	135			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている	< 状況 > 講習会の受講者は、コロナ禍前にもどりとつある。 < 原因 > 主な組合員は大型特殊の免許を取得済みであるが、会員数の減少により1名減となっている。 < 課題 > 高齢化が進行しており、農作業の安全対策、経営の安定向上及び法人化を目指したリーダー研修等を充実させることが必要。							
どちらかといえばあがっている								
あがっていない（停滞・低下）	令和6年度補助金は、繰越金が多く解消できなかったため、全額自主返納となっている。							

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし	コロナ禍に活動ができなかったことが影響して、いまだに団体の収支に繰越金が発生しており解消できていないことから、活動内容についての助言を行う必要がある。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり					
成果向上余地	中程度							

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
農業振興のためには必要な組織であり、活動は行っているものの、繰越金が多く解消できていないため、組織活動の活性化と適正な補助金額の見直しについて、筑紫農協と協議検討中。				令和7年4月に西吉木が協議会を脱退				

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
機械利用組合結成により、就農者の高齢化と後継者不足による、営農放棄を阻止することを目的に、地域営農作業の共同化を取り組むため本事業を開始した。								